

応援します！ # パートナースhip構築宣言

## 「セカイヲ軽クスルカンパニー」 リョービ

### ■ 社員への理念浸透と社会との信頼構築を基盤とした経営姿勢

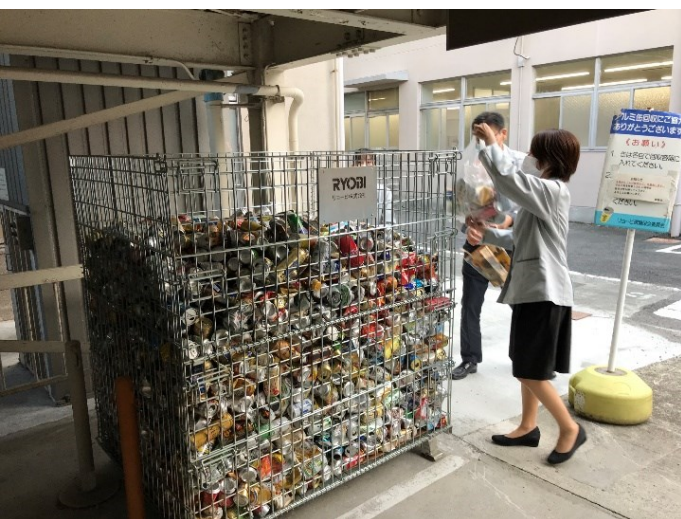
社会や経済環境の急速な変化や価値観の多様化が進む中で、当社は企業活動の根幹を成す企業理念「技術と信頼と挑戦で、健全で活力に満ちた企業を築く。」の実現を重視しています。

この理念を支える「存在意義」「経営姿勢」「行動指針」の3つの要素について、社員への理解と浸透を一層強化しています。特に「経営姿勢」では「社会との信頼関係を大切にし、社員の個性と創意が活かされた活力ある企業を築く。」という考えのもと、協力会社や得意先とのパートナーシップを強化しながら、ともに成長していくことを目指しています。



### ■ 地域の皆様との共生に向けて

地球環境保全に向けて、様々な取り組みを行っています。



国内外すべての生産拠点で、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいますが、主力事業であるダイカスト事業では、主原料のアルミの溶解や生産設備の稼働などに多くのエネルギーを使用しています。当社では、省エネルギーへの取り組みや設備の効率化に加え、新技術開発や再生可能エネルギーの導入も進めています。温室効果ガスの排出量を削減することで、地球温暖化の防止に取り組んでいきます。

また、社員によるアルミ缶回収活動も行っています。集めたアルミ缶を売却し再びアルミ材料として活用することで、循環型社会の実現に貢献しています。なお、売却によって得た利益はNPO法人に寄付し、地域のボランティア団体への支援など、社会貢献活動に活用されています。

本社の近くを流れる芦田川の生態系を守るため、府中市芦田川漁業協同組合の協力のもと、アユの放流を行っています。

放流にあたっては、リョービ保育園の園児に体験の機会を提供しています。放流前には社員が園児に自然環境やアユの生態に関する教育を行い、未来を担う子供たちに自然を守ることの大切さを教えています。





## ■パートナー企業との連携と、「適正取引協議ガイドライン」

当社は、商品やサービスを購入してくださる得意先だけではなく、一緒にものづくりを行っている協力会社に支えられています。パートナーである協力会社とともに安全に良い仕事をしていくために、当社から安全・環境・品質情報共有やサイバーセキュリティ研修会の開催、各種資料の提供等を行っています。

2022年3月（2023年9月更新）には、「パートナーシップ構築宣言」を公表し、協力会社にもその内容を説明しました。

また、取引の実態を把握するために、2023年2月から協力会社へのアンケートを実施しています。アンケートでは多くの意見をいただき、2023年9月にはその結果を基に社内で「適正取引協議ガイドライン」を整備し、価格交渉・価格転嫁協議を担当する社員に周知を行いました。

近年高騰しているエネルギー価格や労務費、輸送費等の価格転嫁協議、支払サイトの短縮、現金払いへの変更などに取り組んでいます。また、協力会社で保管いただいている金型や治具については、適正に保管料をお支払いするよう進めています。その他の意見についても真摯に受け止め、振興基準を遵守しつつ、協力会社との連携強化を図り、共存共栄に向けて得意先を含むサプライチェーン全体の取引適正化を推進していきます。



### 適正取引協議ガイドラインによる適正な価格交渉の推進

得意先、協力会社を含めたサプライチェーン全体の「取引適正化」を推進するため、適正取引協議ガイドラインを作成しました。原材料価格、エネルギー価格、労務費などの価格変動による取引先との価格協議において、基準時期を設定したうえで合理的な算定式に基づき、適正な交渉を行うためのガイドラインです。

**発注者及び受注者がとるべき行動・求められる行動**  
**12の行動指針**

発注者の行動	双方の行動	受注者の行動
1. 本社（経営トップ）の関与	7. 定期的なコミュニケーション	9. 相談窓口の活用
2. 発注者側からの定期的な協議の実施	8. 交渉記録の作成、発注者と受注者の双方での保管	10. 根拠とする資料
3. 説明・資料を求める場合は公表資料とすること		11. 値上げ要請のタイミング
4. サプライチェーン全体での適切な価格転嫁を行うこと		12. 発注者から価格を提示されるのを待たずに自ら希望する額を提示
5. 要請があれば協議のテーブルにつくこと		
6. 必要に応じ考え方を提案すること		

出所：内閣官庁、公正取引委員会  
2023年11月29日公表の「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」

**労務費について  
当社価格交渉の一例**

表工会新年互礼会  
公表資料より

**当社の労務費の適切な転嫁のための価格交渉（一例）** **RYOBI**

広島県 最低賃金推移

発効年月日	18/10/1	19/10/1	20/10/1	21/10/1	22/10/1	23/10/1
最低賃金時間額(円)	844	871	871	899	930	970
前年比上昇率	—	103%	100%	103%	103%	104%
2年前比上昇率	—	—	103%	103%	107%	<b>108%</b>
3年前比上昇率	—	—	—	107%	107%	111%

前回の価格改定が前年の場合4%、**2年前の場合8%**、3年前の場合11%

労務費率（コストに占める労務費の割合）

業種名	労務費率
輸送用機械器具製造業	32.5%
金属製品製造業	<b>34.6%</b>
生産用機械器具製造業	34.9%
情報通信機械器具製造業	36.9%
道路貨物運送業	39.7%
情報サービス業	57.9%

コストは  
 $8\% \times 34.6\% = 2.8\%$  アップ  
 コストが1,000円の場合、  
 労務費分として**28円を転嫁**

これらの公表数値などを参考に  
**労務費の適切な転嫁を推進します。**

出所：・最低賃金推移・・・厚生労働省 最低賃金データ  
・労務費比率・・・公正取引委員会「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」

#### 【会社概要】

会社名：リョービ株式会社

所在地：広島県府中市目崎町 762

パートナーシップ構築宣言日：2022年3月24日

## ■担当者の一押しポイント

同社では、仕入先企業に対して「下請」という言葉は使わず、“協力企業”と呼び、一緒にものづくりを行うパートナーとして尊重しているという話が印象的でした。協力企業が価格交渉を行いやすいよう、社長自ら価格交渉を受け入れる方針を示し、調達部門が中心となって「適正取引協議ガイドライン」の共有と運用を行っています。取引適正化に向けて、横展開していきたい取組だと感じました。

